

全国社会福祉教育セミナー 2025

本セミナーは、オンデマンド型と参集型の2つで構成されています

テーマ

『福祉人材確保』×『学校経営』×『ソーシャルワーク教育』
～縮小社会に対応するための戦略を考える～

参集型日程・会場等

とき 12月13日(土)・14日(日)・15日(月) オプション

場所 学校法人 北陸学院（北陸学院中学校・高等学校）
栄光館『グロリア・チャペル』 石川県金沢市飛梅町1-10
金沢駅からバスで15分（兼六園に隣接）

定員： 300名（オンラインは定員なし） 参加費： 16,500円（オンラインも同額）

対象： 養成校教員および経営部局担当者、福祉事業者、その他関心のある方

参集型会場プログラム（予定）

【1日目】 受付 09:45～ 終了 16:40

<オープニング> 10:30-10:50

本連盟会長挨拶
会場校ご挨拶

<報告1> 10:50-11:50

「本連盟による学生進路意向調査結果の要点」

報告者：本連盟常務理事 伊藤 新一郎

<行政報告> 10:50-12:00

「中教審答申『知の総和答申』の要点解説」 ※収録

報告者：文部科学省より（調整中）

<鼎談> 13:00-15:00

「福祉人材確保 × 学校経営 × 高等教育

× 地方創生の未来を展望する～2040年を見据えて」

登壇者①：中教審委員から

登壇者②：内閣府 地方創生 2.0 担当事務局から

登壇者③：本連盟会長 中村 和彦

聞き手：本連盟理事 大原 裕介

<Session 1> 15:10-16:40

「福祉人材確保とソーシャルワーク実習の連動」

登壇者①：養成校キャリアセンター担当者

登壇者②：福祉事業者

登壇者③：養成校教員（社会）

登壇者④：養成校教員（精神）

司会：本連盟常務理事 名城 健二

【2日目】 開始 10:00 終了 15:10

<Session 2> 10:00-11:30

「ソーシャルワーク教育のエデュケーショナルポリシー 策定にむけて（中間報告）」

本連盟 EP プロジェクトより

<報告2> 11:30-12:30

「令和6年の能登半島地震・豪雨災害における

北陸学院大学学生の被災地支援活動」

モデレーター：北陸学院大学 田中 純一

学生報告者：調整中

<報告3> 13:30-15:00

「ソーシャルワーク実習の充実に向けた

令和7年度社会福祉推進事業の経過報告」

養成校調査：調整中

実習支援システム活用状況等：調整中

司会：本連盟副会長 高良 麻子

<クロージング> 15:00-15:10

本連盟副会長 山野 則子

※ 登壇者等は変更となる場合があります

※ 情報交換会（懇親会）は行いません

オンデマンド・プログラム （参加費は別途設定）

Unit:01（4回）10月～11月を予定

『福祉系大学の経営危機を乗り越える』

Unit:02（4回）10月～11月を予定

『実習教育を通じた
福祉人材確保戦略を考える』

その他オンライン・プログラムを現在企画中

オプションツアー

『ソ教連会員校の学生が支援活動している

奥能登の被災地をバスでめぐり、歩く』

（金沢駅発着・ガイド付・各自昼食準備・車内食）

日時：12月15日(月) 09:00～15:00

定員：20名（最少催行人数15名）

参加費：6,600円

ルート：金沢駅～輪島市門前町～

～奥能登 VC（宿泊拠点）～金沢駅